



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <https://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員CSR・IR部長 (氏名) 田中 善則

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 2022年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	88,192	25.8	4,263	1.8	4,479	3.9	3,089	3.4
2022年3月期第1四半期	70,120	31.0	4,189	156.4	4,311	155.9	2,987	165.7

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 4,750百万円 (31.1%) 2022年3月期第1四半期 3,622百万円 (323.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	118.43	
2022年3月期第1四半期	114.51	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	134,627	78,544	58.2
2022年3月期	115,797	74,420	64.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 78,404百万円 2022年3月期 74,297百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		22.00		24.00	46.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		24.00		24.00	48.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	159,000	16.9	7,400	1.8	7,700	1.7	5,300	3.1	203.17
通期	300,000	10.2	12,800	0.9	13,300	3.2	9,300	2.7	356.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	28,908,581 株	2022年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	2,822,803 株	2022年3月期	2,822,619 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	26,085,871 株	2022年3月期1Q	26,086,501 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、景気に持ち直しの動きが見られたものの、物価上昇や供給面での制約等から下振れリスクが懸念され、我が国経済においても、急激な円安進行による仕入コストの増大、物価上昇によって個人消費が伸び悩むなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業においては、資源リサイクルの総合力及び高機能電子材料の開発などによる差別化のもとで営業展開の強化と国内外の生産拠点活用を進め、貴金属原料の確保、化成品等の製商品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組みました。また、食品関連事業においては、世界的な食資源の供給不安や仕入価格の上昇などにも柔軟に対処し、多様化する顧客ニーズに応えた商品の開拓と安全安心な商品の安定提供により、販売量の拡大に取り組みました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高88,192百万円（前年同四半期比25.8%増）、営業利益4,263百万円（前年同四半期比1.8%増）、経常利益4,479百万円（前年同四半期比3.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益3,089百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界は、半導体不足や中国のロックダウンなどの影響を受けて自動車やスマートフォンの生産には停滞感があったものの、データセンター需要の好調などもあり、半導体・電子デバイス分野の生産活動は、引き続き旺盛な需要に支えられ好調に推移しました。また、ウクライナ情勢等に関連した供給不安やインフレ懸念などから貴金属相場は総じて上昇しました。このような状況の中で、当社グループの貴金属関連事業では、貴金属リサイクルの取扱量及び産業廃棄物の処理受託は増加し、金製品、銀製品、白金族製品等の販売量増加に加え全体的な貴金属相場の上昇もあり、売上高及び営業利益は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は63,924百万円（前年同四半期比28.5%増）、営業利益は3,492百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。

食品関連事業

当事業の主力顧客である食品製造業界は、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着き、外食産業をはじめ持ち直しの傾向が見られましたが、原材料価格の上昇や急激な円安進行等に伴う値上げ発表による消費者の節約志向の高まりから、総じて厳しい状況が続いております。このような状況の中で、当社グループの食品関連事業では、水産品、農産品の販売量は増加し、全体的に販売単価も上昇したことから、売上高は前年同四半期に比べ増加しましたが、営業利益につきましては、一部の商品市況に高騰があった前年同四半期に比べわずかに減少しました。

これらの結果、当該事業の売上高は24,288百万円（前年同四半期比19.1%増）、営業利益は771百万円（前年同四半期比1.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ18,830百万円増加し、134,627百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金、棚卸資産並びに土地・建物等の有形固定資産の増加によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ14,706百万円増加し、56,083百万円となりました。これは主として買掛金及び長短借入金の増加と、未払法人税等の減少との差引によるものです。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ4,124百万円増加し、78,544百万円となりました。これは主として期末配当金の支払い626百万円を上回る利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ76百万円増加し、11,455百万円となりました。

(営業活動のキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は5,566百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益並びに仕入債務の増加による資金の増加と、売上債権、棚卸資産の増加及び法人税等の支払いによる資金の減少との差引によるものです。なお、前年同四半期の8,353百万円の資金の増加に比べ13,919百万円減少しました。

(投資活動のキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は9,505百万円となりました。これは主として土地・建物等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の551百万円の支出に比べて8,953百万円の支出増加となりました。

(財務活動のキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は14,839百万円となりました。これは主として長短借入金の増加によるものです。なお、前年同四半期の7,050百万円の資金の減少に比べ21,890百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（2022年8月10日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,379	11,455
受取手形及び売掛金	26,104	30,593
商品及び製品	27,202	30,248
仕掛品	614	637
原材料及び貯蔵品	13,962	14,190
未収入金	1,938	2,338
その他	4,918	6,715
貸倒引当金	△45	△26
流動資産合計	86,073	96,154
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,633	13,689
減価償却累計額	△6,061	△6,242
建物及び構築物(純額)	6,572	7,447
機械装置及び運搬具	12,659	12,945
減価償却累計額	△9,294	△9,611
機械装置及び運搬具(純額)	3,365	3,334
土地	8,768	16,881
リース資産	1,723	1,710
減価償却累計額	△899	△937
リース資産(純額)	824	773
建設仮勘定	994	779
その他	1,537	1,580
減価償却累計額	△1,285	△1,328
その他(純額)	252	252
有形固定資産合計	20,777	29,468
無形固定資産		
その他	772	856
無形固定資産合計	772	856
投資その他の資産		
投資有価証券	5,484	5,825
繰延税金資産	819	439
その他	1,895	1,904
貸倒引当金	△25	△21
投資その他の資産合計	8,174	8,148
固定資産合計	29,724	38,473
資産合計	115,797	134,627

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	11,231	12,899
短期借入金	9,724	12,584
1年内返済予定の長期借入金	1,588	3,302
リース債務	302	284
未払法人税等	3,128	1,700
賞与引当金	1,012	656
未払金	1,312	1,101
その他	5,292	4,804
流動負債合計	33,592	37,333
固定負債		
長期借入金	4,239	15,274
リース債務	535	502
繰延税金負債	12	13
役員退職慰労引当金	742	753
執行役員退職慰労引当金	25	16
退職給付に係る負債	2,111	2,080
その他	117	108
固定負債合計	7,784	18,749
負債合計	41,377	56,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	69,940	72,403
自己株式	△3,413	△3,413
株主資本合計	74,095	76,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	580	584
繰延ヘッジ損益	△766	185
為替換算調整勘定	1,311	1,918
退職給付に係る調整累計額	△923	△841
その他の包括利益累計額合計	202	1,846
非支配株主持分	122	139
純資産合計	74,420	78,544
負債純資産合計	115,797	134,627

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	70,120	88,192
売上原価	61,751	79,067
売上総利益	8,368	9,125
販売費及び一般管理費	4,178	4,861
営業利益	4,189	4,263
営業外収益		
受取利息	2	2
受取配当金	12	13
持分法による投資利益	114	213
仕入割引	3	3
受取保険金	7	1
為替差益	—	27
その他	11	18
営業外収益合計	152	281
営業外費用		
支払利息	15	38
為替差損	6	—
その他	8	26
営業外費用合計	30	65
経常利益	4,311	4,479
税金等調整前四半期純利益	4,311	4,479
法人税、住民税及び事業税	1,132	1,457
法人税等調整額	186	△74
法人税等合計	1,319	1,382
四半期純利益	2,992	3,097
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	7
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,987	3,089

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	2,992	3,097
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7	4
繰延ヘッジ損益	182	952
為替換算調整勘定	377	497
退職給付に係る調整額	70	80
持分法適用会社に対する持分相当額	7	119
その他の包括利益合計	630	1,653
四半期包括利益	3,622	4,750
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,612	4,733
非支配株主に係る四半期包括利益	9	16

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,311	4,479
減価償却費	502	548
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△58	△22
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△412	△356
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	67	83
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	10	11
執行役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	1	1
受取利息及び受取配当金	△14	△16
支払利息	15	38
持分法による投資損益 (△は益)	△114	△213
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,441	△4,302
棚卸資産の増減額 (△は増加)	4,209	△3,081
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,205	1,523
その他	1,486	△1,465
小計	9,770	△2,772
利息及び配当金の受取額	14	16
利息の支払額	△15	△36
法人税等の支払額	△1,416	△2,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,353	△5,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△525	△9,418
無形固定資産の取得による支出	△7	△82
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
その他	△16	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△551	△9,505
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△5,992	2,798
長期借入れによる収入	-	13,500
長期借入金の返済による支出	△447	△750
配当金の支払額	△521	△626
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△88	△81
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,050	14,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	161	308
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	912	76
現金及び現金同等物の期首残高	8,803	11,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,716	11,455

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,752	20,367	70,120	—	70,120
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	18	18	△18	—
計	49,752	20,386	70,139	△18	70,120
セグメント利益	3,410	779	4,189	—	4,189

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	63,924	24,268	88,192	—	88,192
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	19	19	△19	—
計	63,924	24,288	88,212	△19	88,192
セグメント利益	3,492	771	4,263	—	4,263

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。